

チャペル週報

No. 27

2012.12.17～12.21

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。
その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名
は、「神は我々と共におられる」という意味
である。

(マタイによる福音書1章23節)



神戸三田キャンパスI号館

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 12月17日(月) 神 小 西 清 信 (神学部4年)
経 「人間を考える⑩(最終回)」 韓 燕 麗 (経済学部准教授)
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
聖和 聖書物語「イエスさまのお誕生」
-
- 12月18日(火) 神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 JAZZ de クリスマス Jazz 研究会 JAM 有志
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 定年退職者最終講話 竹 本 洋 (経済学部教授)
商 Christmas English Chapel Bruce Bradburn (神戸ユニオン教会牧師)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 谷村宏子先生クラスによるクリスマスプログラム
総 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)
-
- 12月19日(水) 神 トーンチャイム隊による音楽礼拝
社 動詞シリーズ「喜ぶ」⑤ 舟 木 讓 (経済学部宗教主事)
法 “Let’s sing for Christmas” Christian M. Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 (18:10より) 人間福祉クリスマス祝会
国 東 よしみ (神学部助教)
聖和 「光を待ちて」持 田 葉 子 (聖和短期大学准教授)
理 心に響くクリスマスのベル 理工学部ハンドベル
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 12月20日(木) 神 「クリスマスの賛美とクリスマス物語 ー 時間 ー」
文 クリスマス・パーティー
社 社会学部クリスマスチャペル
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 経済と倫理① 井 口 泰 (経済学部教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「クリスマスとこどもの歌」小 栗 献 (神戸聖愛教会牧師)
総 総合政策学部クリスマスチャペル
-
- 12月21日(金) 院 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
神 神学部学生会によるページェント礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 人間福祉クリスマス礼拝 小 栗 献 (神戸聖愛教会牧師)
聖和 チャペルカフェ
理 心あたたまる音楽礼拝 加藤先生ご夫妻による演奏
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

12月21日(金) クリスマス (12/25) を感謝して

東 よしみ (神学部助教)

リーズのクリスマス

西 室 雅 央

例年、クリスマス前には建物の3階分の高さはあろう巨大なもみの木が駅前に設置、点灯されますが、その年は市の予算の関係で時期が遅れました。そのツリーの先端を良く見ると、イルミネーションの重さで見事に折れ曲がっています。1ヶ月以上誰も直すこともせずお辞儀をしたまま。所々電球が切れている街中のイルミネーション。ここ数年の不景気を象徴するような… それでも11月頃から早くも街全体がクリスマスを待ち切れない雰囲気になります。

これは関西学院のランパス留学で行かせていただいたイギリスの北中部に位置するリーズという街のクリスマスの風景の1つです。イギリスではサマータイムを過ぎると日が急激に短くなり、16時から朝8時過ぎまでは真っ暗です。気温は氷点下。月の半分は雨で濡れ、雪で電車はすぐに止まり、道路に雪が積もらないように撒かれる塩の予算不足のニュースが延々流れ、家の暖房は壊れ、修理に2週間。暗さと寒さに減入りました。

だからこそそのクリスマス。

大学院で知り合ったイギリス人の友人宅のクリスマスホームパーティーに妻と共に招かれました。日本の正月のように年に一度の家族の再会を温かく祝います。留学生同士のパーティでは各国の手料理を持ち寄りささやかな宴を楽しみます。街中のアイススケート場やクリスマスマーケットが賑わいます。パブは老若男女でごった返しおしゃべりに花が咲きます。そして、大聖堂で開かれるヘンデルのメサイアの演奏。五感を通してイエス誕生の喜びを分かち合います。あちこちの教会から漏れてくるオルガンの音、キャロリングの声。寒い長い冬だからこそ、辛い日々だからこそ、身と心を思い思いにクリスマスに委ねているように見えました。

高等部ではグリークラブの顧問をさせていただいています。関西学院クリスマス礼拝が毎年の大きな楽しみです。普段の演奏会とは異なる雰囲気を部員と味わいます。彼らがろうそくの蠟を垂らして遊んでいても、つい笑顔で注意してしまいます。同時に、関西学院につながる者として自身の生き方を省察せずにはられません。

クリスマスを過ぎれば日が少しずつ長くなります。明けない夜はないと勇気づけられます。

(高等部教諭)

●2012年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights - 人権文化を育む (2010年度～2014年度)
「私たちの未来、社会の未来」

講師：湯浅 誠 氏

(反貧困ネットワーク事務局長、NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事)

- 1 と き：12月20日(木) 13:30～15:00
ところ：神戸三田キャンパス II号館201号教室
- 2 と き：12月20日(木) 16:50～18:20
ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館103号教室

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定しています。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを実施しています。(18:00～18:20 1405教室)
12月21日(金) Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時：12月21日(金) 17:30開場 18:30開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーホールプレイガイド

お問い合わせ：宗教センター 0798-54-6018

●関西学院のクリスマス関連行事

12月18日(火) 関西学院クリスマス礼拝 - 音楽で祝う降誕 - (西宮上ヶ原キャンパス)
17:00～18:30 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂～中央芝生

12月20日(木) 関西学院クリスマス礼拝 - 音楽で祝う降誕 - (西宮聖和キャンパス)
18:30～20:00 西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

12月21日(金) 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール
18:30～20:50 ザ・シンフォニーホール(大阪) [有料]

コラム：関西学院紹介(5)「聖和キャンパス」

西宮聖和キャンパスは今年、岡田山で80歳になりました。関西学院が神戸の原田の森から西宮の上ヶ原に移転した3年後、1932年にやはり神戸にあった小さな、けれども日本初の女性たちの神学校である神戸女子神学校は、創立者を同じにする神戸女学院の岡田山移転に寄り添うように西宮へと引っ越したのです。

始めの建物は僅かに4つで、岡田山全体に点在する大きな女学院キャンパスの北端にくっついた、猫の額ほどの土地がこの学校のすべてでした。そこにヴォーリズの手による美しい洋館が3つ建てられ、チャペルのある珍しい洋館に近くの村の子どもたちがやってきて、キャンパス開設の初めから、毎週キリスト教の日曜学校をしていました。また、日曜の夕礼拝には、関学、神戸女学院の両隣からも教職員、学生達が集っていたと言います。その後大阪から大所帯のランバス女学院を迎えて聖和(聖なる和合)と校名を替え、土地を買い足して建物を建て…2009年からは、関西学院西宮聖和キャンパスとなりました。

「聖和の森」と呼ばれる小さな庭は、常緑のクロガネモチや松と共に、色づき葉を落とすトウカエド、ナンキンハゼ、メタセコイヤ、桜…が季節を彩り、小さい人たちから、大きい人たちまでみんなをほっとさせる空間に、赤ちゃんや子どもたち、お母さんたちの呼び声、学生たちの挨拶の声、ネコやカラスの鳴き声も響きます。今も昔も、本当に様々な違いある人たちを受け容れ、憩わせ、キリストにおいて温かな調和を保つキャンパスです。